

8.健康に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	市民の健康づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	          
施策番号	8-01-①	施策名	市民の健康づくり支援

施策の概要

市民一人ひとりの健康づくりを促進するため、事業者や地域団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を強化するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援します。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組めます。

成果指標(単位)	健康寿命(年)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	男性81.86	男性82.10	男性82.34	男性82.58
実績値	男性81.62	未確定			
成果指標(単位)	健康寿命(年)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	女性85.88	女性85.89	女性85.91	女性85.92
実績値	女性85.86	未確定			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度における健康寿命は未確定。令和6年度における男性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.36年短縮し、女性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.86年延伸した。なお、男性の健康寿命が短縮したことについては、85歳以上の死亡者数が令和5年度と比べ増加していること等が一因になっていると考えられる。

施策の達成度評価

「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、生活習慣の改善や心身機能の維持・向上に資する各種事業を地域の関係団体等とともに取り組むことができた。特に、令和7年度は様々なイベント開催等を通じて、若者世代・働く世代から高齢者まで幅広い年代に対し、健康づくりの重要性を周知するほか、こころの健康については、相談支援のネットワークづくりを行うことができた。なお、今後についても、「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、いずれも前年度と比較し偏差値が上昇しており、特に、No.35、No.43、No.44については、偏差値が80と高い。

本市では、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでも市民の健康づくり促進の取組を行ってきた中、令和6年度における健康寿命については、令和5年度と比べ、男性は0.36年短縮し、女性は0.86年延伸した。引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。

健康啓発や生活習慣の改善につながる取組や心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりについては、健康寿命を延伸するだけでなく、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。

■施策評価シート 8-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域保健活動事業	人とくらしのサポートセンター	○	地区担当保健師が地区診断を通じて学区の健康課題の整理を行うとともに地域住民や団体、企業等と協働した取組を行った結果、地域の主体的な健康づくりの取組を支援することができたため。
健康推進員活動事業	健康増進課	○	市民の健康づくりに関する啓発活動等を、市民自らの活動で、各学区の特性にあわせて行うことができたため。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	第3次草津市自殺対策行動計画に基づき、こころの健康づくりの啓発や地域や関係機関、教育機関と連携したゲートキーパー養成研修の開催により、市民が主体的にこころの健康づくりに取り組むことができる環境づくりや、周囲の人のこころの不調に気づき、行動できる地域づくりの推進、連携体制の強化を図ることができたため。
食育推進事業	健康増進課	○	第3次健康くさつ21に基づき、食生活改善に向けた啓発に加え、草津たび丸kitchenでは地場野菜を活用したレシピ、バランスの良い食事、働き世代向けのレシピを毎月掲載するなど、食育についての学びや知識の普及を図ることができたため。
健康啓発推進事業	健康増進課	○	市内の飲食店や運動事業所、文化芸術施設等と連携した「食と運動プロジェクト2025～草津市の文化とともに～」を展開し、野菜摂取の大切さや運動習慣の重要性等について周知啓発を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
健康づくり推進協議会運営事業	健康増進課
健幸都市づくり推進事業	健康福祉政策課
健康管理システム事業	子育て相談センター
健康管理システム事業	人とくらしのサポートセンター
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	総務課
保健師活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事務	健康増進課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課
健康管理システム事業	健康増進課
健康教育事業	健康増進課
健康相談事業	健康増進課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事務	健康増進課
精神保健福祉対策事業	健康増進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
	偏差値	55.2	57.9			
34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
	偏差値	60.7	61.3			
35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
	偏差値	78.3	80.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	80	101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	市民の健康づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	           
施策番号	8-01-②	施策名	疾病予防対策の強化

施策の概要

疾病の予防と早期発見のため、予防接種、各種けん診について、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率向上や早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行います。また、感染症について、正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組めます。

成果指標(単位)	乳がん検診受診率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.0	12.4	12.8	13.2
実績値	11.6	11.7			

成果指標実績に対するコメント

草津市乳がん検診受診率については、国が示す対象枠から拡大した無料クーポン券の送付や個別勧奨通知の発送のほか、イベントでの乳がん触診体験の実施等により、受診率向上に向けた取組を行い、前年度より0.1ポイント増加したものの、目標値を達成することはできなかった。なお、乳がん検診の受診間隔は2年度に1度であることから、受診率は前年度と今年度の受診者を合わせ2年連続受診者を除いた受診率を用いて評価している。

施策の達成度評価

予防接種や各種けん診について、予防接種を希望される方が接種を受けられる体制整備や、集団けん診の実施や個別勧奨通知、正しい理解に向けた啓発等に取り組む、疾病予防対策を進めることができた。今後については、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が80となっている。
本市では、予防接種や各種けん診について、地域の医療機関等での接種・受診体制の充実に取り組むとともに、正しい知識の普及と予防の啓発等を行っており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

疾病の発症予防と早期発見のため、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、引き続き、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

予防接種や各種がん検診については、疾病の発症予防や早期発見だけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
予防接種事業	健康増進課	○	予防接種法に基づく定期接種については、個別通知の送付や小中学校を通じた啓発等、対象者(子どもや高齢者)に、必要な周知啓発が行えたため。令和7年度より定期接種となった带状疱疹予防接種について、希望する人が地域の医療機関で接種を受けられる体制を整え、疾病予防を図ることができたため。
健康診査事業	健康増進課	○	がん検診については、ナッジ理論を活用した個別勧奨通知の送付や集団けん診の予約枠の拡大、Web予約や託児支援の実施、イオンシネマでの啓発動画の放映など、受診率向上に向けた各種取組を推進できたため。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目歯科健康診査の対象者に20歳および30歳を加えるとともに、妊婦歯科健康診査の受診費用を無料にすることで、定期的な歯科健康診査の機会を提供し、生涯を通じた歯の健康づくりや口腔機能の維持・向上の実現を図ることができたため。

■施策評価シート 8-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
感染症予防事業	健康増進課
予防接種事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-①	施策名	国民健康保険制度の運用	

施策の概要 持続可能な国民健康保険制度の運営を進めるため、国民健康保険財政の健全化、保険料負担と給付の公平化、特定健康診査・特定保健指導の実施等による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動等、制度への理解促進に努めます。

成果指標(単位)	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	37.4	39.2	41	42.8
実績値	35.6	34.2			

成果指標実績に対するコメント 市民意識調査における「医療保険制度の適正運用」に「満足」「やや満足」と回答された市民の割合は、令和6年度と比べて減少し、令和7年度の目標値は達成することができなかった。 令和8年度については、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。
--

施策の達成度評価 資格管理や保険給付等の事務を適正に行い、保険財政の健全運営を保ちつつ被保険者負担の抑制を図るよう国保税率設定を行った。 当該施策に関する「地域幸福度(Well-Being)指標」は、偏差値が高い順に、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり、いずれも偏差値は70を上回った。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。
--

評価に基づいた令和9年度の実施についての方針 医療費の適正化や保健事業の積極的な実施により、引き続き、国保財政の健全運営を図る。 また、国民健康保険制度の改正時等には、市民への十分な周知・啓発を行う。 医療費の適正化や保健事業の積極的な実施は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、今後も継続して取組を実施していく。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特定保健指導事業	健康増進課	○	特定保健指導において、オンライン面談やイベント型での実施など、利用しやすい環境を整えることができたため。また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で複数回の勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行うことができたため。
レセプト管理事業	保険年金課	○	医療費適正化のため、レセプトの管理を適正に行い、また、過誤返戻や本人請求を適切に執行したため。
医療費適正化特別対策事業	保険年金課	○	医療費通知とジェネリック医薬品差額通知の送付を行うことで、医療費の抑制に努めたため。
特定健康診査事業	保険年金課	○	個別健診のほか、被用者保険との連携による集団けん診を12回実施し、受診機会の拡充を図るとともに、文書や電話等による受診勧奨を行うことより、受診率向上に努めた。 また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で勧奨を行い、医療機関受診に繋がった実績が向上したため。
人間ドック等助成事業	保険年金課	○	被保険者の健康保持増進を目的とする本事業について、助成制度利用の積極的な周知啓発を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定健康診査事業	健康増進課
国民健康保険税賦課事務	税務課
国保事業費納付金事業事務(医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(後期高齢者支援金等分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(介護納付金分)	保険年金課
重複頻回受診訪問指導事業	保険年金課
高額介護合算医療事業	保険年金課
高額療養事業	保険年金課
療養事業	保険年金課
療養給付事業	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
傷病手当金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9		4.0							
		偏差値	69.7		73.3							
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5							
		偏差値	79.7		80.0							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考		
客観指標No. (令和7年度)			2	4	101	102						

■施策評価シート

8-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-②	施策名	後期高齢者医療制度の運用

施策の概要

高齢者の誰もが、安心して健やかに暮らすことができる健全で円滑な医療制度の運営を進めるため、運営主体の滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携し、被保険者への制度周知や健康診査等の保健事業による健康の保持・増進と医療費の適正化に努めます。

成果指標(単位)	後期高齢者医療保険料収納率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	99.62	99.62	99.62	99.62
実績値	99.61	99.66			

成果指標実績に対するコメント

後期高齢者医療(現年分)の収納率は、令和6年度に引き続き、高い値であった。

施策の達成度評価

定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等を積極的に実施することにより、高い収納率を維持することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.43 私は、身体的に健康な状態である」であり、偏差値は80となっている。これには後期高齢者医療保険料の収納率を高く維持することで保険財政の安定に繋がり、健康診査事業等を通じ早期に医療へアクセスしやすい状況を提供していることが寄与していると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

収納率のさらなる向上を図るため、引き続き取組を進めていく。

当該施策は「No.43 私は、身体的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であり、こうした指標が高い水準だったことを踏まえ、後期高齢者医療保険料の収納率のさらなる向上を図り、保険財政の安定に繋げることで医療へアクセスしやすい状況を引き続き提供できるよう、引き続き収納対策にかかる取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
後期高齢者健康診査事業	保険年金課	○	滋賀県後期高齢者医療広域連合より委託を受け対象者に健康診査受診券を送付し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査事業を進めたため。
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等の実施により、高い収納率を維持することができたため。

■施策評価シート 8-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
後期高齢者医療事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.5	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		3	4	101	102			

■施策評価シート

8-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-③	施策名	福祉医療費の助成	

施策の概要

社会的に弱い立場の方の経済的負担軽減を図るため、障害者等を対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標(単位)	対象者(障害者(児)、障害老人)1人あたりの年間助成額(千円)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	125	125	125	125
実績値	125	124			

成果指標実績に対するコメント

目標助成額を下回っているものの、助成対象者へ適切な助成を行うことができた。引き続き制度の周知と適切な助成に取り組んでいく。

施策の達成度評価

令和7年度も前年度に引き続き、助成対象者の医療費負担の軽減に寄与した。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり、偏差値は70を上回る結果となった。こうした結果を踏まえ、指標に関連する事業として、引き続き適切に助成事業を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

これまでの取組と同様、制度の周知も含め、適切な助成事業実施に取り組む。

福祉医療費助成制度は「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き適切に助成事業を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
障害老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート 8-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
老人福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)								